

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷株式会社

鳥取県中小企業団体中央会

ベトナム経済視察研修を終えて

この度鳥取県中小企業団体中央会の創立40周年記念の一環として実施されたベトナム視察研修には親会並びに各地区青年中央会より多数の参加者があり、総勢42名が集まった。我々、西部青年中央会も阿部会長をはじめ藤居直前会長、松岡、小原両元副会長、それに清水会員（美保土建）、渡部会員（すし弁慶）、角田の計7名である。

9月7日いよいよ未知の国ベトナムへの出発である。午前11時20分発ベトナム航空941便は満席状態で関西空港を飛び立った。約5時間の空の旅、無事ホーチミン国際空港へ到着。日本との時差は約2時間、時計を午後6時20分に合わせる。バスにてホテルへと向かう。



車内から見る市内の道路は何とバイク（ホンダスーパーカブ）、自転車の多いことか、バスがクラクションを鳴らしながらそれをケチらして進んでいる状態である。

30分程でホテルに到着、チェックインの後、近くの市場を散策しているときに、ちょっとした事件が起こった。

中部のメンバーY氏が、財布を引ったくられる羽目に、東部のY氏もセカンドバッグをバイクの2人組に盗られそうになったがこちらは未遂で終わった。それにしても、何と物騒なことか。10年前より始まったドイモイ政策の中で社会主義から民主主義へ少しずつ変換していく中、国民の日常生活上の不満が出つつあるのかもしれない。

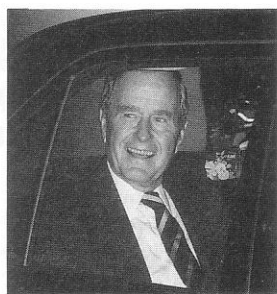
何はともあれ我々のベトナム視察は波乱の幕開けとなった。夕食は現地の観光客向けレストランに出向いた。

主に中華料理が中心で、特にエビ、カニの味は最高である。日本人向けの味付けにして有るのだろうか。



2日目の朝の事、偶然にもロビーでブッシュ前大統領と顔を合わすことができた。こちらが声を掛けると気さくに手を振って答えてくれたのが印象的だった。

その後、ホーチミン領事館担当官との懇談会を始め、市の投資協力委員会を訪問し現状を聞いたり、現地の大手縫製工場の視察、タン・トゥアン・輸出加工区の訪問等、多忙ではあったが有意義な1日であった。この日、スケジュールの合間をぬって阿部会長の取引先のユニフォームの現地工場を見学させてもらい、現地の物価水準、ベトナム人の気質等、生の話を聞くことができた。



3日目、いよいよ、今日が最終日、会員一同リラックスムードでバスに乗り込む。市内観光で、ベトナム戦争犯罪博物館、ペンタン市場を訪れる。我々のバスについてきて一生懸命小物を売りつけようとする子供たち、その熱心な事、市内を移動するとバイクで付いて来る。きっと日本人はお人好しに見え、そのうち根負けして買うのであろう。得したつもりで買って、後で計算したら損していた西部の某会員もいた。午後から訪れたクチの地下トンネルはベトナム戦争当時、アメリカ軍の空襲により大量の枯れ葉剤がまかれた為、住民や解放戦線兵士によって掘られたトンネルで総延長が250kmにもなっているらしい。西部のF氏はその通路の細さを見て入るのを断念していた。この場所は米軍兵士にとって一番嫌がられた場所だったらしい。

今回のベトナム視察は私達が今まで抱き続けていたベトナムのイメージを変えてくれたような気がする。バイクと自転車と人の洪水、湧き出てくるようなバイタリティー、



人なつこい笑顔、全てが感動の3日間だった。

10年後、いや5年後にもう一度訪ねてみたい国である。最後になりましたが今回の視察研修で大変お世話になった東部の沢会員をはじめ関係各位の皆様にお礼を申し上げます。有難うございました。(S.T)

Handsome

発行人 鳥取県西部中小企業青年中央会 会長 阿部 信行 編集責任者 足立 聡 印刷所 東京印刷株式会社

鳥取県中小企業団体中央会

ベトナム経済視察研修を終えて

この度鳥取県中小企業団体中央会の創立40周年記念の一環として実施されたベトナム視察研修には親会並びに各地区青年中央会より多数の参加者があり、総勢42名が集まった。我々、西部青年中央会も阿部会長をはじめ藤居直前会長、松岡、小原両元副会長、それに清水会員（美保土建）、渡部会員（すし弁慶）、角田の計7名である。

9月7日いよいよ未知の国ベトナムへの出発である。午前11時20分発ベトナム航空941便は満席状態で関西空港を飛び立った。約5時間の空の旅、無事ホーチミン国際空港へ到着。日本との時差は約2時間、時計を午後6時20分に合わせる。バスにてホテルへと向かう。



車内から見る市内の道路は何とバイク（ホンダスーパーカブ）、自転車の多いことか、バスがクラクションを鳴らしながらそれをケチらして進んでいる状態である。

30分程でホテルに到着、チェックインの後、近くの市場を散策しているときに、ちょっとした事件が起こった。

中部のメンバーY氏が、財布を引ったくられる羽目に、東部のY氏もセカンドバッグをバイクの2人組に盗られそうになったがこちらは未遂で終わった。それにしても、何と物騒なことか。10年前より始まったドイモイ政策の中で社会主義から民主主義へ少しずつ変換していく中、国民の日常生活上の不満が出つつあるのかもしれない。

何はともあれ我々のベトナム視察は波乱の幕開けとなった。夕食は現地の観光客向けレストランに出向いた。

主に中華料理が中心で、特にエビ、カニの味は最高である。日本人向けの味付けにして有るのだろうか。



2日目の朝の事、偶然にもロビーでブッシュ前大統領と顔を合わすことができた。こちらが声を掛けると気さくに手を振って答えてくれたのが印象的だった。

その後、ホーチミン領事館担当官との懇談会を始め、市の投資協力委員会を訪問し現状を聞いたり、現地の大手縫製工場の視察、タン・トゥアン・輸出加工区の訪問等、多忙ではあったが有意義な1日であった。この日、スケジュールの合間をぬって阿部会長の取引先のユニフォームの現地工場を見学させてもらい、現地の物価水準、ベトナム人の気質等、生の話を聞くことができた。



3日目、いよいよ、今日が最終日、会員一同リラックスムードでバスに乗り込む。市内観光で、ベトナム戦争犯罪博物館、ペンタン市場を訪れる。我々のバスについてきて一生懸命小物を売りつけようとする子供たち、その熱心な事、市内を移動するとバイクで付いて来る。きっと日本人はお人好しに見え、そのうち根負けして買うのであろう。得したつもりで買って、後で計算したら損していた西部の某会員もいた。午後から訪れたクチの地下トンネルはベトナム戦争当時、アメリカ軍の空襲により大量の枯れ葉剤がまかれた為、住民や解放戦線兵士によって掘られたトンネルで総延長が250kmにもなっているらしい。西部のF氏はその通路の細さを見て入るのを断念していた。この場所は米軍兵士にとって一番嫌がられた場所だったらしい。

今回のベトナム視察は私達が今まで抱き続けていたベトナムのイメージを変えてくれたような気がする。バイクと自転車と人の洪水、湧き出てくるようなバイタリティー、



人なつこい笑顔、全てが感動の3日間だった。

10年後、いや5年後にもう一度訪ねてみたい国である。最後になりましたが今回の視察研修で大変お世話になった東部の沢会員をはじめ関係各位の皆様にお礼を申し上げます。有難うございました。(S.T)

9 月 度 委 員 会 報 告

政治・行政委員会

平成7年9月21日(木) 於：米子食品会館
 出席者/12名
 内 容/前半のテーマ「政治」を軸に、11月担当例会の進め方について協議した。
 11月例会では西部地区より選出された、石黒、松田、湯原の三県議を迎え討論会を行う事とし、過日各委員会にお願いしてあった要望事項を踏まえ活発な意見交換を行った。(各委員会のご協力ありがとうございました)。
 一口に「政治」と言っても非常に幅の広いテーマであり、ともすれば日常の我々の活動とは直接のかかわり合いが見えづらい。出来るだけ身近な問題を西部地区選出の各県議にざっくばらんに語っていただき、県政レベルからみた西部地区の近未来像が、又課題が浮き彫りに出来る例会にしたいと委員会一同燃えています。

社会・文化委員会

平成7年9月6日(水) 於：米子食品会館
 出席者/11名
 講 師/鳥取県児童福祉相談所心理判定員 田代美奈子先生
 演 題/「学校に行っていない子供達が語りかける事」
 まず最初に委員会の山内会員から講師先生の紹介が有り、講師先生は米子市内出身の23才。若くて、とてもカワイイ講師先生の為、ほとんどの会員がどんな講演が聞けるのか興味津々。
 前回は東山中学校の校長先生から、学校側から見た子供の意識を聞きましたが、今回は講師先生がカウンセラーをして居るので、その体験談をケース1、2と実際に自分がその子供達にカウンセリングをして居る様子を聞きました。
 その中には、学校に行きたくなくなったその子供なりの理由で自分の将来の不安等、自分の中の色々な迷いを聞かせて頂きました。前回同様、同年代の子供を持つ親としての質問が飛びかい、大変有意義な委員会でした。

地域ビジョン委員会

平成7年9月8日(金) 於：ホテル アジェンタ
 出席者/10名
 講 師/多羅尾整二氏
 演 題/地域の未来と合併問題
 世界の中の日本、日本の中の鳥取県の現状を整理し位置づけを行ったうえで、地方行政や公共投資にのみ依存するのではなく、我々は我々の出来る事を実行して行くべきだと言う提言を含んだ内容のあるお話を伺いました。

経済委員会

平成7年9月11日(金) 於：米子食品会館
 出席者/12名
 講 師/米子信用金庫常務理事 内海敏氏
 演 題/経済よもやま話
 今回は、我が西部青年中央会・第10期会長の「内海敏氏」をお迎えし、「経済よもやま話」を阿部会長と共に楽しくお伺いした。
 お話しは、バブル崩壊と阪神大震災で大打撃を受け、金融はたんの続く現在の日本経済と大正12年の関東大震災時の日本経済との酷似点の比較など大変興味深い内容でした。
 また、ちょっと難解でしたが今後の経済の動向や景気浮揚のための経済対策・「金利のしくみ」などについても、お話し頂いた。最後に、内海OBならではの地元金融機関における状況把握と分析には、当委員会に所属する某金融機関関係者もタジタジのところもあり、さすが「西部青年中央会OB」を実感した委員会でした。

経営投資委員会

平成7年9月5日(火) 於：米子食品会館
 出席者/13名
 内 容/担当例会の打合せ
 5分間スピーチ 足立(耕)会員より
 毎月の委員会ごとに1~2名ずつ5分間スピーチを行うことになった(テーマ自由)。今回、足立(耕)会員がトップバッターである。足立会員のスピーチ要旨は『自社の経営理念として物品ではなく人間性を売ることが大切である。そのためにはどんどん自己表現(主張)をして相手に自分の事を理解して頂く必要がある』と述べられた。スピーチの後、出席会員全員により無記名で感想(話の内容、構成、話し方、姿勢等)をレポートにまとめ、本人へ愛情をこめて渡した。

情報メディア委員会

平成7年9月21日(木) 於：㈱エッグ
 出席者/15名
 講 師/㈱エッグ 代表取締役 高下士良氏
 演 題/OA機器活用によるチラシ、DM等のコストダウンの可能性について
 今回は高下会員の会社にお邪魔させていただき、実際の印刷環境を視察し、中小企業における印刷物のコストダウンの可能性を勉強した。最初に高下氏に講演をお願いし、印刷物のコストダウンを図る上で今までの印刷工程を抜本的に見直す必要があったことや、そのためにコンピュータを使った印刷工程の簡素化を行った事等の説明を受けた。
 その後印刷工場の視察をさせて戴いたが現在の写真加工技術などは目を見張るものがあった。
 結論として、今後各企業がコンピュータによる印刷物の下書きデータを持ち込むことによってコストダウンの可能性は十分ありそうであった。ただそのための時間やお金の投資とバランスを、もう少し研究する必要があるようであった。

広報委員会

平成7年9月7日(木) 於：米子食品会館
 出席者/16名
 内 容/○9月役員会報告
 ○足立副会長 挨拶
 ○10月ハンサムの打ち合わせ
 ○10月委員会は境港会員により境港で10月6日に開催予定
 ○政治行政委員会から要請のあった、11月例会での三議員に対する質問の検討で、多数の意見が出たがある会員より切実な問題提起があり、皆同感し広報委員会での質問事項として決定した。

総務委員会

平成7年9月5日(火) 於：米子食品会館2F研修室
 出席者/17名
 内 容/新入会員自己紹介
 退職による退会
 第4回OB交流会開催について~PART2
 県青中ゴルフコンペ参加について
 10月21日 三朝ゴルフ倶楽部にて
 委員会より代表選手2名選抜
 委員会対抗ゴルフコンペ(VS政治行政委員会)の案内
 10月23日 米子ゴルフ場にて 午後12:30 スタート
 委員会より代表選手9名選抜

例会・委員会 〈出席状況〉

例会/■ 委員会/□

14	17	6	14	12	12	11	10	9	11	15	13	7	12	12	16
19	19	18	18	19	18	18	19	18	18	18	19				
総務	情報メディア	政治行政	地域ビジョン	社会文化	経営投資	経済	広報								

9 月例会報告

秋風が快い9月18日(月)、米子国際ホテルに於いて9月例会が経営投資委員会の担当により開催されました。いつもの例会とは違ったトーキング形式でリラックスした雰囲気の中、講師にドイツ・バンク(ドイツ銀行)東京支店のトレジャラー ウルリッヒ・フォルマー氏と奥さんのアンネグレイト・ベルクマン夫人をお招きし、「ドイツの経済」ドイツの中小企業～金融・雇用・時短そしてマイスター制度～というテーマで進行役に宮廻会員そしてパネリストに福田会員と中ノ森会員が務めスムーズに進められました。お二人とも日本の文化に大変興味があり研究もされておられ、日本語も流暢にお話になるので十分にお話しを聞く事が出来ました。

フォルマー氏より銀行のトレジャラーという仕事は円を多く集め、日本の企業やドイツからの進出企業に貸付を行う業務で多額の資金を扱っている。またドイツの中小企業は日本と同じく数が多く、マルク高の時にかなりの会社がなくなり、特別な技術を持っている中小企業が生き残った。大企業でも環境に適応できなかった企業は淘汰され、経済対策として安全な会社ばかりでなく、ベンチャーの中小企業に開発銀行等が積極的に援助を行った。企業の労働条件は労働組合と契約を交わし決定しているが、大企業と中小企業との間での賃金差は少なく、働く人の意識も殆ど変わらない、普通の人は労働時間が週35時間でフレックスタイ

ム制の会社もある。ヨーロッパでは企業の発展は町の発展につながるという考えが古くからあり、ドイツでは専門の職人を養成するため、マイスター制度により技術を高めると同時に社会的地位も認められている。

ベルクマン夫人は学校教育について、ドイツは受験制度がなく、全て国立で義務教育は9年間の後に18才で親から殆ど独立する、自分の好きな職業や仕事に就くために進路を選び、その選択もたくさんある。また保育園は日本のように多くないために、1年間の休暇があってもなかなか共稼ぎは難しい。働く女性が多くなり男女の賃金格差は少なく、女性でも有能な人は優遇されている。

たいへん仲の良いご夫婦で羨ましい限りですが、お子さんが早く独立され、お二人の楽しい生活が来ることを心よりお祈り申し上げます。



聞いてごしない Part 9

「今はまだ人生を語らず」

最近、若輩者にも関わらず先輩扱いされる事が多いような気がする。中央会は一応卒業したのだから皆なしよう事なしに先輩と呼んでくれるだけなのかも知れない。未熟なのは自分が一番良く分かっているので少し面映ゆい。尤、信長風に『人生わずか50年、下天の内にくらぶれば、夢幻しになりけり』だとすると後2年程しかない。何か答えがあるとすれば少し急がねばなるまい。因に、下天とは平たく言えば、善悪入り乱れ混沌とした俗世の事で、すべての世の一番下に位置する世界なんだそうである。俺が生きてきたのは正に下天であった。

平均寿命が延びたからもう30年は大丈夫というヤツには全く賛成できない。何故なら、今の年寄り達は質素で自然な暮らしをし、あまつさえあの過酷な戦争の時代を生き抜いた頑健な人々である。俺達は戦後の生芋のおやつに始まり、世界グルメツアーまでしてしまい、その間、農薬野菜に放射能、サッカリンにチクロにサルチル酸、着色ジュースにインスタントラーメンまで体に悪いもの全ての生体実験のモルモットになってきた。今になって今度は自然食品のはずの砂糖や塩もダメだと言われてもパニックしてしまう。少なくとも俺達と同世代の成り金ならぬ、成グルメには、味覚が三才までに決まってしまうと云う説は当たらない筈だ。私事で恐縮だが、商売柄人生経験豊富だと勘違いされて相談をされることもある。こんな世の中、俺には身の上相談など空恐ろしくてとても出来ない。せいぜいカラオケの審査か、若い娘の身の下相談ぐらいが関の山だ。何人たりとも明日は見えないのだから。共産主義が衛星テレビで脆くも崩壊することなど誰も予想できなかった筈だ。Anyway, 俗物、妖物魍魎魍魎の跋扈する下天の彼方、見え隠れする何かに向かって歩いていくしかないのだ、今はまだ人生を語らずに。(帰ってきた虎)

日時	10月17日(火) 受付 18:30~ 開始 19:20~
場所	ホテルわこう
演題	「マルチメディアの動向」
講師	富士通(株) システム事業推進本部 システム技術統括部 マルチメディア商談担当部長 佐藤健二氏

※出席の有無を10月13日までに返信ハガキにてご回示下さい。

月例会案内

10月定例役員会が10月2日(月)、米子食品会館に於いて開催された。当日の主な議題は、次の通り。

- (1) 10、11月例会開催の件
- (2) OB交流会実施の件
- (3) 青経連ボウリング大会の件
- (4) その他

※尚、詳細については各委員長までご照会下さい。

連絡事項

退会案内

橋井英明会員が8月度をもって退職のため退会されました。

編集後記

秋風吹く今日この頃ですが、会員の皆様方もそろそろ夏の疲れが出てくる頃ではないでしょうか。秋と言えば『スポーツの秋』『食欲の秋』。夏の間飲み過ぎたビール、秋の深まりと共に増してくる食欲……。
我らが青年中央会会員諸君も青年らしく、弛んだおなかを引き締めるべく、ほどほどに頑張りましょう!!